

農業用水不足に備えるため、 あいののダムへの導水を1ヶ月前倒し

今冬の雄物川では記録的少雪となっており、春先の水利用を融雪に多く依存する当地域においては水利用や河川環境への影響が懸念されることから、3月25日に雄物川水系渇水情報連絡会を開催したところです。

横手盆地の田園地帯（約3,200ha）を受益地とするあいののダム（農林水産省 所管）では、例年であれば5月16日から山内黒沢川（黒沢川頭首工）からダムへの導水を行い、農業用水を貯留していたところです。

しかしながら、少雪及び早い雪解けもあり、農業用水が不足するおそれが生じています。

このため、河川からあいののダムへの導水を4月9日（予定）から開始して、代かき期に不足することがないように備えることとしました。

なお、この前倒しによる導水は、河川の維持流量（※）を確保の上、実施いたします。

[主な実施内容]

山内黒沢川（黒沢川頭首工）から、あいののダムへの導水（別紙参照）

- ・ 毎年5月16日から ⇒ 4月9日（予定）から開始
- ・ 山内黒沢川の河川維持流量を確保した上で、必要量（最大1.5 m³/s）を導水

※河川の維持流量とは

下流の利水者、河川利用者、環境などの必要水量を充たす流量

【参考】令和6年3月14日発表 雄物川水系渇水情報連絡会開催記者発表資料
https://www.thr.mlit.go.jp/Bumon/kisya/kisyah/images/98415_1.pdf

<発表記者会>

<秋田県政記者会、横手記者会、大仙市地方紙>

問い合わせ先

[河川（山内黒沢川）、ダム及び営農に関すること]

農林水産省 東北農政局 旭川農業水利事業所

0182-35-5401

所長 小泉 亘司

[河川に関すること（雄物川水系渇水情報連絡会事務局）]

国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所

0183-73-3174

副所長（河川担当） 岩沢 博章（内線 204）

